

武家嚴秘錄

| | | | |
|-----|----|-------|---|
| 和書門 | | | |
| 一 | 一 | 一五三九五 | 類 |
| 〇 | 一四 | 號 | |
| 冊 | 架 | 函 | 號 |

| | | | |
|------|---|-------|----|
| 內閣文庫 | | | |
| 一 | 一 | 一五三九五 | 和書 |
| 二 | 〇 | 號 | |
| 二架 | 冊 | 架 | 類 |

| | |
|------|----------|
| 內閣文庫 | |
| 番號 | 和 15395 |
| 冊數 | 10 (8) |
| 函號 | 181 152 |



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak



武家殿秘錄八



一 束帯ト 白

一 束帯ト 系鞋ト 白

一 袴ト 胡麻ト 白

一 袴衣 矢袋ト 白

一 大紋 襪ト 白

一 布衣 右刀ト 白

一 素袍 展符ト 白

一 大紋 紋所ト 白

一 芭蕉布麻ト 白

淺草文庫

- 一 長湯下帷子浴也(巾)
- 一 裳腰襷身同(巾)
- 一 御座(巾)同(巾)
- 一 殿中(巾)同(巾)
- 一 夏火事(巾)同(巾)
- 一 草火事(巾)同(巾)

束帯

冠

此法紙より

衛府右方

物白紙にて三つ不巻
箱型子地前法

捨着子

帖紙

ヒラフキ法
陰中入

笏一抱

夏ハ草子冬ハウラハシク口ニ紋カウ草子ハ草子ニヨリテ用を賜
床草子ニ通用布ハ草子ヨリ別床草子用

下襷

冬ハ表白ニ平浦ウラニ夏工ニ減色ニ藍又淡キセ

裾一表(袴)

表白ウラニ紅表冬通用

帯平結

此法袴子ノ紋付

左帷子

冬ハ白ニ夏ハ赤ニ何七袖ハ冬夏ノ紋法ナリ
下襷(袴)ノ草子ノ紋付襟袖ニ付テ身圍

草

此法危紐

石帯

石馬屬日ニ草葉厚角臘色ヲ用ユ

小サ刀

未廣

又ハホリトスフ

布衣

地力イキ色不白
後更長身 下長腰身

烏帽子

布衣

腰帶

素袍

地法麻之不同

侍馬帽子 黒色掛袴

素袍

小サ刀

古小サ刀日度



古事本抄
旧くこれハ新ニ花ノミヤウノ
扇ハ此ノ古キモノナリ



系鞋

以素糸作之
糸太サ五厘斗

右諸通 干後ノ方左環左諸通

干後方右環而結之

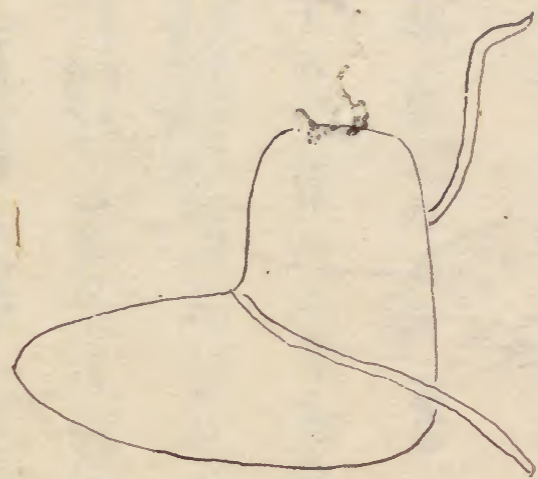
其形如足皮之無筒者口一寸計截断之

令前後而前後端有延作ノ底端縫合

系鞋處用白草包之而附平皮為裏

合延平皮厚二合計

襪二者以生絛作之如俗用之足袋而其製亦異也垂勝
 每底今所奉圖之係皆縫也故着之則當十足底有縫箇
 如竹筒而前後皆縫合之紐如常足袋



此圖ノ端皆縫也

太刀圖垂平緒



太刀制惣丈三尺二寸

但柄六寸
 鞘三尺寸

柄百鈺 其中高三分甲入玉

柄端以金純甲金

其長一十二分但如取縁作之見地

鈺而表方甲金之中央純小環

而以紫皮附二筋垂緒

唐冠圖



總長廿一尺九寸自足下厚二分計
以板授纓黑漆此橫二寸計
自端去四寸計其橫四寸



纓之圖



圖如此



垂緒本二緒金物一次亦金物一其制
別不作之一而如別有之作也其次緒緒
亦端乾金物長一寸計而六角作之仕
周廻六分計也
至平緒如平緒也以下者謂垂以腰
纏者謂之平緒此二者以太系或ノ故
厚三厘計也各橫二寸五分垂長總
三尺二寸計也

東帯

当将軍家御袍
 丁子唐草葵御紋
 ナリ又織文集ニ
 カラカサニ御紋ト
 松竹カラカサト
 御紋トニ品ニヘタリ

冠四位以上有文
 冠カケ緒命ヨリ



マキ工 釵柄頭ノ垂タリ 縮ヲ目貫ヲ
 ト云先ノ金モノヲ ツエト云

裾下襲ニ
 ナリ合ハ別ニ
 切ハニテ用之

此文丁子唐草

衣冠

冠ノカケ緒紙ヨリ
ニ紫組ヲ用ユ本
式ニテラス勅許ニ
テ用之

当時奴ハカマ袍ハカリ
着スルニ衣冠ト云單文ハ衣
ヲ着スルヲカサ子ト云



四位以上黒

檜扇

野弔俗上府ノ太刀ト云

襦

奴袴下ニテ袴
或ハ三ツ次ヲ着
外ハハミヘス

無纓

草

衣成相

此文ハ藤

サシヌキ奴袴

五位束帯

延喜式所謂苗ナリ
鍔抄五位有テ蘇芳
氣トイヘ此ニ実ハ
苗ニ染ヘシ



冠五位以下无纹

袍色浅緋

笏木

無纓カケヲ紙ヨリ

マキ上太刀

此ワナレト云本
名ワチカヘト云ワ
ナシハ別ニアリ

平緒タリ

表袴

裾

武家ニテハタビヲ用ユ
コレハヲヒナリ襪ナレヘシ

五位衣冠 武家五位着之



五位侍従ハ
紫ノ紐カケヲ
ナリ

カケヲ
紙ヨリ

奴袴 キヌカリ袴布
和訓又ナリ

隨身

公方様御隨身金襴袍
着スル例延文二年戊十二
月十八日午刻为勅使日野
時光征夷大将軍宣旨之帝
頂戴ナリ同世三日御系内
品々隨身馬上—以上世
四騎赤々金襴上衣豹
虎尻鞆太刀湯藤弓
尻笠負厚総尻靴カケ
ナリ左右ワケテ二行ニ
ナリ



細纓 六位以下武官用之

野劔尻鞆

〇オヒカケ

闊腋袍金襴 赤大口

目貫緒

長袴

三ハ草 草ナリ 元襪 ナリ

隨身

名目抄云上臈六人
左右曹將左右人
左右近衛各三人是
兵杖ノ羨ナリ



直岳

武家侍従以上着之
紫ト紅可憚之

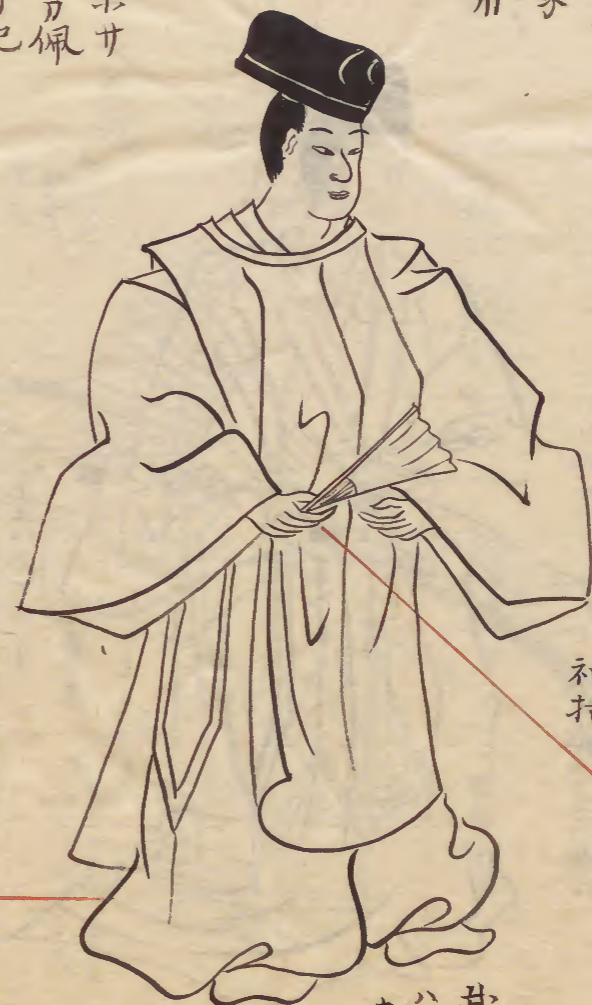


狩衣

其紋文不定
冬表綾色不定裏平絹

近代多云夏冬ニテ狩ヲ
用ル非ナリ古実武家
ニテハ裏亦狩衣不用

武家ニテハ狩衣ノ片ハサ
刀亦刀佩副又糸菱太刀佩
副ルモアリ直衣ノ所記



袖拵

アテコリアリ
腰帶ト云

武家ニテハ
ハ襪ヲハ
カヌスア
ミナリ

奴ハカマ

直衣

立烏帽子或ハ
凡折或ハ冠時
ニ依テ用之



単衣

核扇

アテコリアリ
腰帶ト云

奴袴

襪ヲ

奴袴下ニ下袴
或ハ腰次ヲ着ス
外ハハミヘス

以文公卧蝶今フモレウト云ハ
アヤマリ

小直衣

本名狩衣直衣
ナリ 様家並相
以後清花ハ幕
下ノ後着之丸糸
ノ家ニテハ丞相ノ
以前着之トシ依
年齡可相斗

色文不之表縫色文不之重平緒



立烏帽子

蝙蝠或核子

袖ノリ

奴袴ノ下白袴
着外ハハミハス

襪

奴袴

当コニアリ
腰帶ト云

布衣

百布衣ヲカリキスト云
今ハヨリ文アルヲ狩衣先
紋ナクヲ布衣ト云

布色紋不之

近幸平緒或ハ子リスキ
ヲ用ル右実ニアラス



ノミノ

蝙蝠

小サカ作り古ト異リ
赤刀佩副ル

奴袴无文アサキ
六位奴袴ヲ用ル法
外 襪袴タヒニ

此家ニ
ハクヒヲ
ハカスス
アミナリ

大紋

布直垂ヲ俗ニ大紋ト云
武家五位階大夫

西三条装束抄云
布直垂諸大夫着
之見ッ俗ニ大紋ト云
ハ大ナル紋ヲ付タルニ
ヨリテ云カ



左折爪折
カケヲカミヨリ

ノシメ

直垂ト裁縫聊替之

近年腰紐諸ノ余リヲ長ク
タルハアヤマリ

左右トモ
此処紋ハ
十三

水干葛袴

地紋或ハ生結葛袴色不定



ミエホニ爪折ヲキル
內衣一ツ

カケヲ紙ヨリ馬ノ
尾ヲヨリテ用ル
モアリ

タカ首如此折テキル

胎級赤白モ平不定

袖ヅリ紫

大口小袴

葛袴
糸テトチ

キクトチ
ムラサキ

大帷子浅キ

帟帟懐中アルヘシ

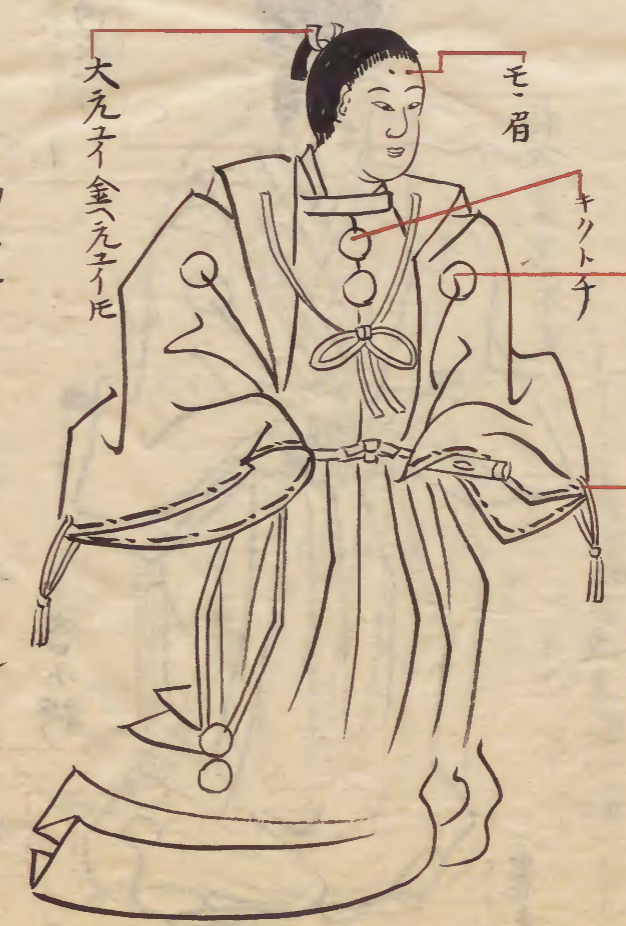
白黒月

ヒカウ
鼻高

水干

地前三全三色目不交內衣
白ニツエリニ着ス

昔ニ門跡ノ御成ノ
片伊兒辨膳ニ奏ラルト
ニタレ片ノ水干ヲ大
カク片長縮ヲ名ム家
ノ御息水干ヲ召武家
息長縮ヲ召ト宗立
大双紙ニハタリ



モ眉

キクトチ

家紋公家ニ紋十三

袖ノリ上中下

大元才金(元才)片

胸紐如斯公家方ニ如此用ル十三

細長



胸紐紫組緒

白浮織物亀甲

地白亀甲
文アリ

奴袴
サニヌキ着
用スルアリ

長結

地精好又生緒色不定

長結ハ裁縫ニ付ケル
名アラヌ四三ナク
ヌノ名ナリ 然レモ
中頃ヨリ裁縫ノ一
トナリテ 裁縫ノ
水干トシ 方領ヲ長
緒トス



素袍小袴



素袍 又素襖

武家无位无官着之布衣ノ下ニ

素袍ノ汗武家ニ蝙蝠持ス
用テ子細ナシ

侍アホシ
折エホシ
カケラ組ヲ
ナリ額瓜
只入ルヤ
マリナリ



ヒキカムスフ
オトハ狭ハアヤマリ

小サカ作り 古ハコトシ
赤刀佩副ル

裏折大口

表浅キ布裏
生緒大口白生緒

小結アレハ
カケヲナシ



コノタリ此糸ヲ緒又
タカノハイト

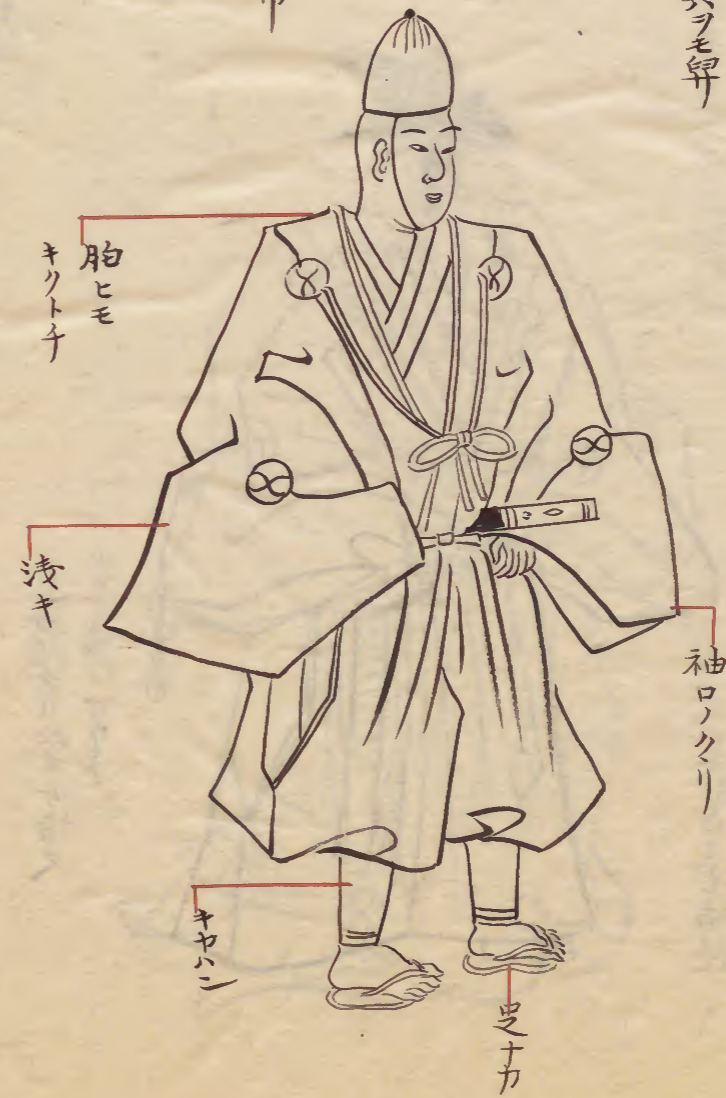
大口白又生緒精
好ヲモ用ハシ

刀者装束

直垂白袴

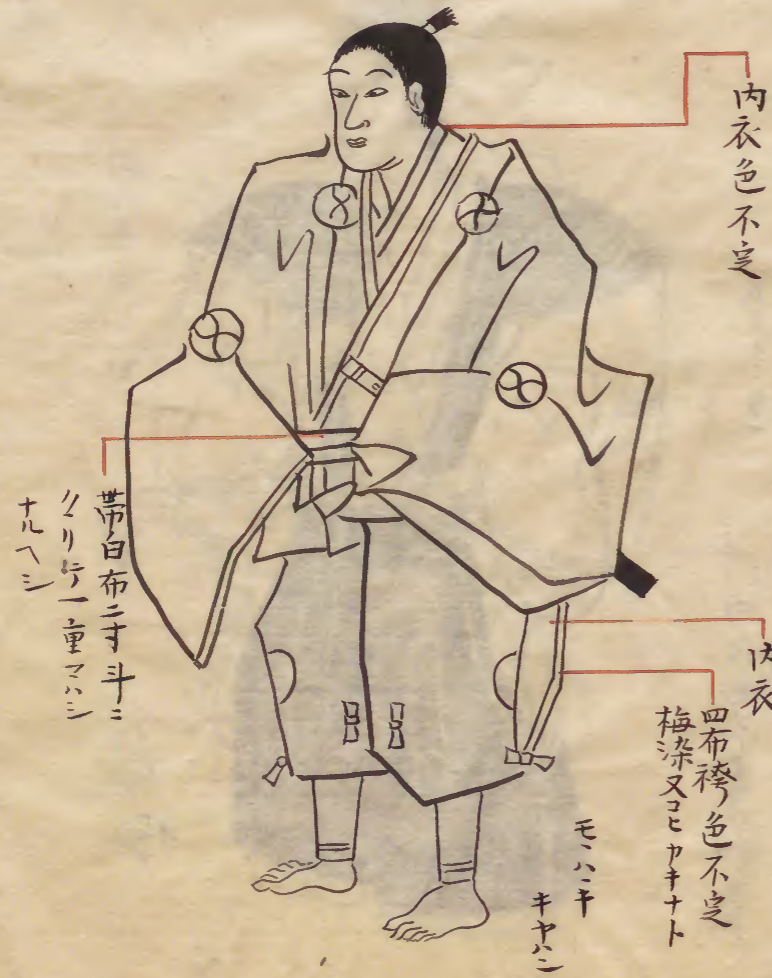
長刀ヲ持又ハ奥ヲモ解

出丁巾



十徳四布袴

是ハ大迫物ノ片大
引馬ノ口取ナトノ
体ニ合ハ轆ヲ解モ
ノコノ体ニム家ニ
テハ正ホニナキハ
柿ヲ布ヲ頭ヲ包
ムナリ



肩衣羊袴

地布色不定



退紅

荒染地布
依家手持持亦着之



新くしてその中程のし布衣をくくるとは入るこゝろ
ちかきしよ今人の時一してのきん又とむく神の結走
るむくくとまのまへへ

古坂の段祈の事

寛政十二年辛酉月移る大工保本藤子大坂へ是程祈
色に細りて段布衣を用ひし如く如くは伊礼と名を置けり
是同大坂段布衣を名に置けり宋女に故大目所は月所
此ははかりて大目所大目所在是上は女下は女置る事
此か一右の段布衣を名に置けり

一 布衣古よ替束物と布衣と云ふ将衣の事一と云ふ

はりのんはきり見ると一 柿杓と布衣と云ふ名目有
形く古きと云ふ概して布衣と云ふ事と云ふ此は
二布衣と云ふ事と云ふ概して布衣と云ふ事と云ふ事
三布衣と云ふ事と云ふ概して布衣と云ふ事と云ふ事
ともを以て云ふ事と云ふ概して布衣と云ふ事と云ふ事
と云ふ事と云ふ事と云ふ概して布衣と云ふ事と云ふ事
臣と云ふ事と云ふ事と云ふ概して布衣と云ふ事と云ふ事
別く相辭使事程と云ふ事と云ふ概して布衣と云ふ事と云ふ事
色の本一と云ふ事と云ふ概して布衣と云ふ事と云ふ事
中後其の事と云ふ事と云ふ

ク今を印して別に分る也又橋をくわす成入れ違年
ふりの明の根^ノよるより中成なるの今も腰より
別は法成おして橋をくわす但あ年しよふ是深
又と御堂のそらと目しよすち水のよる成を
そらに好くくわす

一 米より成くよるより成り是利成り成り成り成り
くして今成りよるより成り是利成り成り成り成り
の金成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り
お成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り
お成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り



この右馬渡泉のゆほ法の布に成り成り成り成り成り
看をよる成り成り成り成り成り成り成り成り成り
ゆほより成り成り成り成り成り成り成り成り成り
お成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り
成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り
よる成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り
はれ成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り
以後成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り
成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り
成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り
成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り

先祖 東遷後、ワシ人 薩平の西遷 爲の所
肩衣 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴
小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴

花鳥奔麻の事

一 享保二四年五月五日 或り 自於 夢向 花鳥奔麻
上と名 用 袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴

花鳥奔麻の事

一 享保二四年五月五日 或り 自於 夢向 花鳥奔麻
上と名 用 袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴



とて 用 袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴
と 袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴
ひり 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴
た 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴
細 袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴
袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴
上 袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴

花鳥奔麻の事

細 袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴
同 袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴 小袴

